



## 2026 AUTOBACS SUPER GT Round 5 SUZUKA GT 300km RACE

AUGUST. 22 - 23 Qualify : 2nd / Race : 4th

### チームの力を結集し苦境から脱出。逆襲の4位フィニッシュ



8月1日～2日に富士スピードウェイで行われた第4戦では、これまで多くの好結果を残してきた得意コース、セットアップもタイヤも好調という状況にも関わらず、まったく上位争いに絡むどころか周回遅れでの戦いを強いられることになった D'station Racing。悪夢のような状況から脱する一縷の望みを願いながら、8月22日（土）～23日（日）に三重県の鈴鹿サーキットで行われた第5戦に臨んだ。

迎えた第5戦の走行初日となる8月22日（土）の鈴鹿は薄曇りながら厳しい残暑となり、午前9時30分から行われた公式練習は気温31度／路面温度37度というコンディションとなった。

D'station Vantage GT3は藤井誠暢からステアリングを握りコースインするが、開始15分、37分と相次いで赤旗中断となり、思うように走行時間が取れないセッションとなった。そんな中、藤井は1分59秒520というタイムを記録し、7周を走りチャーリー・ファグに交代。ファグも8周を走り公式練習を終えることになったが、順位は19番手。前戦の苦境はまだ続いてしまっていた。

またも苦しいばかりの週末が続いてしまうのか――。しかし、今の D'station Racing はそれを跳ね返す強さがあった。午後3時30分から行われる公式予選に向けチームはセットアップの改善、

さらにふだんこの時期は使わない、タイムが出る種類のタイヤにトライすることを決断した。

気温34度／路面温度46度というコンディションで迎えた公式予選で、まずはQ1に出走した藤井は、タイヤ選択が功を奏し午前が嘘のような見違えた走りをみせた。1分57秒324を記録すると、A組のトップタイムに。Q2進出を果たした。

D'station Vantage GT3の好パフォーマンスはQ2でも続いた。ファグがドライブした D'station Vantage GT3は、セッション終了間際に1分56秒551を記録。僅差でポールポジション獲得はなかったが、2番手となりフロントロウを獲得。富士では曇っていた藤井とファグ、そしてチームメンバーの表情に笑顔を取り戻すことになった。

好結果に沸いた公式予選から一夜明け、迎えた8月23日（日）の鈴鹿サーキットも暑さが厳しいなかで迎えた。午後1時30分から行われた決勝レースは、気温34度／路面温度49度というコンディション。D'station Vantage GT3は藤井がスタートドライバーを務めた。

スタート直後、藤井は3番手スタートの#61 BRZに並びかけられるが、これをしっかりと退けると、トップを走る#9 BMWを追っていく。この週末、#9 BMWは別格のスピードをもっており、藤井でもなかなか追いつくことはできない。それ

でも2番手をきっちりキープし、コースアウト車両発生によるフルコースイエローの解除後、16周を終えピットインを行った。

D'station Vantage GT3は藤井からファグに交代し、チームもしっかりと作業を行ったが、獲得ポイントにともなうサクセス給油リストラクターが入っていたこともあり、ピットアウト後 D'station Vantage GT3の順位は実質の5番手にドロップしてしまう。ただ、それもとより計算の上。後半の長いスティントに向け、前半とは異なるタイヤを履いていたファグは、着実なペースで4番手を追っていた。

終盤、D'station Vantage GT3は展開にも恵まれる。2番手を走っていた#60 LC500が緊急ピットインを行い、これでファグは4番手に浮上。さらに42周目に130Rでファグの後方の6番手を走っていた#52 GR Supraがクラッシュしてしまう。レースはフルコースイエローからセーフティカーに切り替えられ、レースはそのままフィニッシュを迎えた。D'station Vantage GT3は4位でレースを終えることになった。

表彰台には届かなかったが、土曜午前までの苦境から脱し、4位まで追いつけたのはチームの力と言える。ランキング2位に浮上した。悲願の王座を目指し、この勢いを後半戦にも繋げていく。



## COMMENTS :



### Team Owner : Satoshi HOSHINO

第4戦富士は非常に苦しいレースウィークになり、今週も厳しい戦いになるかと思っていたのですが、思いがけず公式予選で2番手につけることができ、今週は幸運な流れにあると感じることができましたね。決勝レースでも給油リストラクターはありましたが、ドライバーもチームも本当に素晴らしい仕事をしてくれて、4位でレースを終える

ことができました。想定外の好結果だったと思いますし、とても満足しています。次回はスポーツランド SUGO でのレースですが、次戦に向けても良い位置につけることができていると思います。チャンピオン争いもまだまだ混戦模様ですが、最終戦まで諦めずにシリーズを戦っていきたいと思います。応援ありがとうございました！



### Director : Kazuhiro SASAKI

前回の第4戦富士では本当にどうにもならない苦しい思いをしてしまいました。第5戦鈴鹿も厳しい状況が予想されていたものの、チーム、そしてドライバーが本当に頑張ってくれて、現状を考えると上出来以上とも言える結果を残すことができました。チームのみんなを称賛したいと思いますね。それくらい良い結果だったと思います。予選で

も藤井選手、チャーリー選手とも素晴らしい走りを見せてくれましたし、決勝でもノーミスで戦えました。タイヤも本当に素晴らしかったと思います。次回はスポーツランド SUGO でのレースで、昨年は辛い思いもしましたが、クルマもすごく良くなっているので、上位、そして今回よりもっと上を目指していきたいと思っています。



### Supervisor : Tetsuya TANAKA

今回はタイヤが良かったことはもちろんなのですが、チーム、ドライバーが本当に細かいところまでやれることをやってくれて、そのすべての積み重ねでこういう結果を得ることができたと思います。順位としてはラッキーな部分もあったと思いますが、ミスなくしっかり戦うことができましたし、なるべく多くのポイントを持ち帰ろうと努力し

てきたことがこうして結果に繋がったと思います。チャンピオンという目標に向けて、素晴らしい仕事ができたとはいえますね。また予選 Q1 で、藤井選手が素晴らしいタイムを記録してトップになりましたよね。それがチームの緊張感を良い意味で高めてくれたと思いますし、そこから良い流れがきたのではないかと考えています。



### Driver : Tomonobu FUJII

苦しいレースを予想して鈴鹿に来ましたが、富士を踏まえてさまざまなところを見直していきました。また、予選では本来この時期に履かないタイム重視のタイヤを履いたので、それが生きて良いタイムを出すことができました。決勝レースでも、トップは逃げてしまいましたが、2番手からプッシュを続けていきました。後半スプリントでは

チャーリー選手がまた別のタイヤを履いたのですが、それも機能しました。給油リストラクターもあったので、本来は8位くらいだったと思いますが、展開にも助けられました。前回の取りこぼしも挽回できましたし、チャンピオン争いも良い位置にいますので、シーズン後半戦、もう一度仕切り直して頑張っていきたいと思っています。



### Driver : Charlie Fagg

たくさんのポイントを得ることができて本当に良かったです。これで次の SUGO や、その後のオートポリス、もてぎと良い流れに繋げることができると思う。前回は本当に辛いレースだったけれど、今回は良い週末を過ごすことができたと思う。2番手スタートから表彰台に登ることができなかったのは残念だったけど、給油リストラクターも

入っていたからね。ピットで順位を維持するのは困難だった。一時は5番手くらいになったけど、幸運もあって4位まで上がることができた。チャンピオンシップを考えると、悪くない結果だったと思うよ。次回も安定したレースをすることが大事になってくると思う。とにかく今週は満足するレースウィークを送ることができたよ！

